

同窓会会員大会に出席 10月6日 @上田

関東同窓会会長 上原昇(2組)

台風接近の影響か季節外れの暑さの10月6日(土)の昼下がり、上田では同窓会の平成30年度会員大会が開催された。筆者は関東同窓会を代表して来賓として参列した。

同期では地元の布施修一郎(6組)、黒沢俊直(1)、小山壽一、丸山幸雄(2)、小山田秀士(7)、関東から丸山暢久(4)が顔を見せた。

会場はいつもの上田駅前、東急REIホテルで、参加者は360名を超える盛会となった。

講演会は山崎豪敏さん(78期、東洋経済新報社・取締役編集局長)の『出版界の課題と日本型システムのこれから』と題する興味深い話を聞くことができた。

オープニングアトラクションでは関東同窓会でもお馴染みの母校室内楽班による室内楽演奏に暫し聴き入った。金子元昭同窓会理事長(68期)あいさつ、来賓代表として廣田昌彦学校長と関西同窓会会長の竹内俊隆さん(68)のあいさつが続いた後、今回は特別に母校が進めているSuper Global High School(SGH)活動の一環につき生徒二人からプレゼンがあった。

小池友実さん(2年生)は、カンボジア井戸プロジェクトに参画した話を披露し感動を呼んだ。

その後はお楽しみの懇親パーティとなり、19時前にお開きとなった。

大会後、65期同期5名が駅前の居酒屋で軽く二次会をして散会した。

(2018年10月7日記)

(イメージ写真、紅葉の上田城櫓)

